

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日時	平成27年2月13日(金) 18:30~20:00
場所	伊那市役所 庁議室
議事内容	
<p>1 開会のことば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道部長 <p>2 委嘱書交付</p> <p>3 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副市長 <p>4 自己紹介</p> <p>5 会議事項</p> <p>(1) 正副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長 城倉 昭治 氏 ・副会長 平澤 きよ美 氏 ・正副会長就任あいさつ <p>(2) 水道事業経営健全化計画【改訂版】(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により、事務局説明 ・質疑討論 <p>(委員) 具体的施策の中で収入の確保に、新たな収入源の確保とあるが具体的にはどのようなことを考えているか。</p> <p>(事務局) 現在は検針票の裏面を使った広告を募集しています。しかし、年間数万円程度の収入しか得られていません。他にも良い方法がないか検討中です。</p> <p>(委員) 今まで1社の広告しか見たことがないが、募集方法はどのようにしているか。</p> <p>(事務局) 3月の市報にも掲載しますが、毎年市報と市公式ホームページにて募集をかけています。なかなか応募が無く、過去2年は同じ会社が広告を出しています。</p> <p>(委員) 検針票の裏面というのは企業にとってあまり魅力がないのではないか。</p> <p>(事務局) 年間約180,000枚ほど配られるものなので、水道部としてはお願いしていきたいと考えています。</p> <p>(委員) 不要資産の売却・貸付けとあるが、具体的にどの程度進んでいるのか。</p> <p>(事務局) 年に1度、一般の市有地の売却に合わせて売りに出していますが、水道施設の土地は、水が出たりあまり良い条件ではないため、なかなか厳しい状況です。最近では2件の売却事例がありました。貸付けに関しましては、整地等の必要経費を考えますと貸付けよりは売却の方が有利と思われませんが、いずれにしましても難しい面があります。</p> <p>(委員) 貸付けは難しいと思うが、企業会計として市の関係部署への貸付けを考えてみて</p>	

かどうか。

(事務局) 今後検討していきたいと思います。

(委員) 現在検針は隔月で行われているが、かつては毎月だった。極端な例えになるが、年に1回の検針にすれば経費がだいぶ浮くのではないか。3か月や4か月に1回の検針にするといった検討はしないのか。

(事務局) 当審議会でそのようなご意見が多く出されれば検討したいと思いますが、1回あたりの請求額も大きくなりますので、支払いが大変になるため、現在は検討していません。

(委員) 料金改定が無くても収支そのものは黒字になるが、資本的収支が赤字になるから改定が必要ということか。

(事務局) この部分は公営企業会計のしくみをご理解いただくのに難しいところなのですが、資本的収支の赤字を収益的収支の黒字等の補てん財源で補わなければならないので、不足しないだけの黒字が必要になるということです。

(3) 下水道事業経営健全化計画【第三改訂版】(案)について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 伊那市の水洗化率や処理場稼働率が低いのは何が原因なのか。

(事務局) 水洗化率に関しましては、県内でも下水道事業を始めたのが遅かったことが原因の一つとして考えられます。景気の悪化による各家庭の事情等もあり、率を上げることが容易ではなくなってきています。処理場稼働率に関してですが、当初の計画では、将来的に人口が増え、それに伴い処理する汚水量も増えるという予測を立てていたと思います。計画に基づいて施設整備が進められましたが、実際は人口が増えず、節水機器の普及や、節水意識の浸透により汚水量が減ってきているということで稼働率が悪くなっています。

(委員) 経営方針の中に収入の確保というのがあり、水洗化率の目標が平成37年3月までに90%とあるが、過去と比べてペースが遅すぎると思うが、どのように考えているか。

(事務局) 水道部の全職員が接続のお願いのため臨戸訪問を行っていますが、事情を聴きると、高齢者だけで住んでいて若い人たちは戻ってこない家ですとか、年金のみの収入しかない世帯ですとか、未接続の家は状況が厳しいところがだんだんと残ってきています。従いまして、これまでと同じようなペースでは水洗化率が上がっていかないと予想されます。しかし、可能な限り努力して率を上げていきたいと思っています。

(委員) 水洗化率が思うように上がっていないようだが、早期接続補助金1000万円の予算に対して、効果はどのくらいあったのか。

(事務局) 補助制度を行ったことにより、1年以内に接続する家が増えたと考えています。本年度は1000万円の予算の内、約600万円が支出される見込みですが、補助

金交付にあたり、市内業者での施工を要件としていますので、多くの工事発注により経済効果があると考えています。

(委員) 1軒の家が接続するときに5人家族と一人暮らしでは水洗化率が変わる。一人暮らしの家が接続しなくても率には大きく影響しないのではないか。なぜ、水洗化率は人口で計算するのか。

(事務局) 水洗化率という指標は全国的なもので、他と比較するためもあり人口で算出しています。

(4) 水道事業・下水道事業包括的民間委託について

・資料により、事務局説明

・質疑討論

なし

(5) その他 なし

6 その他

(事務局) 次回の会議は、7月頃の開催を予定しています。

5 閉会のことば

・副会長

以 上